

老健 いばらき

第40号

2012.2.1



写真提供 / 大子町役場 企画観光課

『袋田の滝』

発行所 / 一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人 / 小柳 賢時

編集人 / 協和ヘルシーセンター
つくばリハビリテーションセンター
ゴーエン美浦
涼風苑
編集 / 田尻ヶ丘ヘルシーケア
博純苑

長山 辰治
市原 健一
岩瀬 剛
池田 八郎
石川 達也
渡辺キヨ子

新年を迎えて 年頭のご挨拶

一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会

会長 小柳賢時

旧年中は、震災の対応を含め大変お世話になりました。本年も宜しくお願い致します。今まだ明けましておめでとうという心境になかなか

なれない状態です。震災の影響のためなのか、医療・介護を含めた社会保障制度の方向性が不透明のためか、増税の問題か、T・P・Pのためか、政治の責任感の問題なのか、あるいは個人的環境のためか、年が明けても気持ち切り替えて

れておりません。ある本によると、北陸の雪は湿気を含んでいる重い雪で、兼六園では枝が折れるのを防ぐために、木々に縄を張る雪吊りをするそうです。折れやすいのは、強くて曲がない丈夫な木で、枝が柔らかく撓る竹や柳などは雪吊りをしなくても、撓って雪を落としてしま

います。「撓う」という言葉は、曲がる、屈する、萎えるという意味です。心萎えるということがあります。人は誰でも憂鬱になる時があります。抑うつ的な思考、心が撓っている状態

です。その様な時にこんなマイナス思考では駄目だと自分を叱咤してしま。しかし結果が上手いかず、抑うつの気分、堂々巡りの考え、活性化出来ない状態が長く続き、逃げ道もない

と心が折れてうつ病という病的状態となつてしま

います。竹や柳が曲がることで新しい春に向かうように、心撓うに任せていることも大事な

のだ、耐え忍び、曲がり、撓って再び立ち上がる。まっすぐ強く生きようと突っ張るだけでは

どこかで折れてしまうもの。ため息を吐くことも、枝を撓らせて、もう一度しゃんと伸びようとする大事な時な

のかもしれない。今年度の医療・介護報酬同時改定で少しでも今後の方向性の春を感じ、さらなる少子高齢社会において、介護老人保健施設の役割りを新たに構築し、その意見集約的立場になれる茨老健協会を目指して、今年も皆様のご協力をお願い致します。

一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会

副会長 長山辰治

東日本大震災を経験した後の辰年(戊辰)

協会会員の皆様におかれましては、どのような新年を迎えられたでしょうか。

初夢は縁起が良いと言われていた富士山、あるいは勇壮な鷹でしたか? 聞くところによりますと、鷹は「フクフク」と鳴くので、福を呼び込む縁起の良い鳥だそうです。

私の名前は辰治と申しますが、よく他の方から「先生は辰年生まれですか」と聞かれますが、実は巳年生まれであります。この名前は現在84歳になる父が付けてくれました。亡くなった祖父が辰年生まれ、父親・兄も辰年生まれで、私だけ辰年生まれではないので名前に辰の一字を付けてくれたそうです。そして家族の間柄も仲良く治まるようにと名前の後には治という字を付けてくれました。父親の願ひ通りに人生が経過しているかは自分の判断では今のところよく解りません。

さて、平成24年度の介護報酬規定ですが、社会保障&税制一体改革の大混乱のなかで、介護報酬においてはわずかのみですがプラス改定になる見通しです。

平成23年度末で終了となる介護職員処遇改善一時金を継続させる目的でのプラス改定との事です。ともあれ減額はまぬがれたわけで、何よりの情報です。

また、昨年は東日本大震災があり、加えて原発の被害にあわれた地域の皆さんにおかれましては心からお見舞い申し上げます。当施設でも被害にあわれた福島県の介護老人保健施設に職員を派遣しました。テレビ等では伝わらない貴重な体験と聞いておりますので、紙面をお借り

いたしました。皆様にお伝えしたいと思っております。

平成23年4月9日から4月30日までの間、被災地のボランティアに行ってきました。

自分が派遣された先は福島県のある医療機関併設の老健で、入所定員100名の施設です。

着任した当初は津波の被害で倒壊した施設の利用者や原発の影響で避難してきた方たちの受け入れを行っており、190名弱の利用者がいました。食堂やリハビリ室にもベッドを用意し、4人部屋を6人で利用する等、定員を超過して対応している状況で、毎日余震や停電が続く中、オムツやリネン類などは救援物資を使用し、スタッフの方たちも疲れている中で非常に頑張っておられるのですが、生活の援助だけで精いっぱいでは細かい部分までは手が回らない様な状態でした。市街の様子も見えてきましたが、津波で

あり得ない形で残された車や家屋、いたる所に続く瓦礫の山、それらを少しずつ片づけておられる現地の人達、テレビでは毎日のように報道

されていましたが、現場に行つて実際見る事によつて改めて震災の恐ろしさを痛感しました。

これから先何十年かかるか分からない、気の遠くなるような復興への道ですが、被災地の皆さんにはあきらめず、頑張つて欲しいと思つています。

また、自分が見た事や経験させていただいた事は風化させずにたくさんの人に伝えていきたく、心からそう思いました。

以上が当施設の介護支援専門員の体験記です。東日本大震災の経験を糧に、日頃から備えや自分達が被災した場合の対処等について準備をしておきたいものです。

最後になりましたが、会員施設の皆様のご健康とご発展を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

茨城県保健福祉部長寿福祉課介護保険室

室長 横田英之

あけましておめでとうございます。一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方には、日頃から、本県の高齢者福祉行政の推進並びに介護保険制度の円滑な運営に多大なご尽力をいただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

昨年は、3月11日に発生した東日本大震災により何かと大変な一年だったと思つています。

多くの介護老人保健施設におきまして、建物等に甚大な被害を被り、施設の運営にも大きな影響が出たにもかかわらず、素早く利用者の安全を確保し、支援していただきました皆様方に、心から敬意と感謝を表するところでございます。県におきましては、国の災害復旧関連事業の活用を図りながら、介護老人保健施設をはじめとする社会福祉施設等の一日も早い復旧・復興に向け鋭意努力しているところでございます。

さて、本年4月から地域包括ケアシステムの実現に向けた改正介護保険法が施行され、新たな介護サービス等の創設、医療と介護の機能分

化・連携強化等の視点に立った介護報酬の改定等が予定される一方、持続可能な制度を目指して社会保障と税の一体改革に向けた議論も現在進められているところでございます。

これら国の動向を見極めながら茨城県では、誰もが健康で生きがいを持ち、高齢期を主体的に暮らせる環境づくりを政策目標に、地域包括ケア体制の推進を重要な施策の柱に掲げ、平成24年度からの3年間に取り組むべき施策の方向を明らかにした「第5期いばらき高齢者プラン21」を策定しまして、各種高齢者施策を講じることとしております。

会員の皆様方におかれましても、このプランの主旨をご理解いただき、地域の高齢者福祉・介護の拠点施設として、引き続き利用者の立場に立ったケアやリハビリテーションなど、質の高いサービスの提供をされますようお願い申し上げます。

むすびに、今後とも、本県の高齢者福祉行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

功労者表彰 受賞にあたって

介護老人保健施設シニア健康センターしおさい

看護師 佐藤 里加子

平成10年の開設準備の段階から勤務しています。当時は施設勤務の経験がある職員が少なく、何をどうすればいいのか毎日話し合いの連続でした。その年の4月から開設して、施設での看護のあり方や介護技術についてなど、病院

勤務の頃とは別の悩みや迷いがたくさんあるなかでの勤務でした。夜勤中は自分ひとり全ての利用者の状態管理が押し掛かり、そのプレッシャーと緊張で投げ出したくなる日もあったように思います。また、初めて介護士と一緒に仕事をすることも戸惑うことのひとつでした。在宅復帰施設なのだから各職種の連携が必要不可欠なのだとは本当に理解したのはずっと後のことです。

このように最初の10年は道筋を作るので一杯でしたが、11年目からは看護面のサポートと充実を自分の目標として掲げ、計画し実行しているところです。これからも利用者の方にしおさいに来て安心だと言われるように、日々精進していきたいと思えます。

この度、功労賞をいただいたのは、共に頑張ってきた同僚の叱咤激励と支えがあったことと感謝の気持ちでいっぱいです。これから先もいろいろなお仕事があることでしょう。時には立ち止まり、振り返り、前に進んでいきたいと思えます。

永年勤続者表彰 受賞にあたって

介護老人保健施設さざんか荘

介護士 小森 春江

介護老人保健施設に勤務し21年私には、この仕事についてとてもよかったです。いろいろな事で自分の為にもいい経験、いい勉強になりました。これも家族の支えがあったからこそ長く続けてこられたのです。当初は子供も小さく大変でしたが周りの皆さんの力添いもあったから頑張ってきたのだ

す。今後も体力の続く限り利用者様のお世話をさせて頂きたいと思えます。始めは不安でいっぱいでしたが、入所者の方に「お姉さんどうもありがたう。お姉さんの笑い顔を見ると自分も気持ち明るくなるよ。」と、声かけられた時、やっぱりこの仕事に向いているのかなと思えました。これからは安心して生活を送られるよう皆様と楽しく暮らせる施設にしたいです。この3月11日は、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島、東北3県、それから9ヶ月が過ぎましたが、いまだに多くの人が元の生活を取り戻すことが出来ないでいる、また福島では原発事故もあり見えない恐怖に怯やかされています。一人一人が手を取り合って復旧・復興に向けて力を合せて行きたいと思えます。私もこの地震の日には仕事でした。地震の恐ろしさを知りその揺れと恐怖に怯え少しの揺れでも立ち上がってしまします。このような地震がまたおこらないように祈りたいです。これからも一生懸命頑張つて、初心を忘れることなく、日々努力して行きたいです。この受賞にあたり感謝を申し上げます。礼の言葉とさせて頂きます。本当にありがたうございました。

「功労者職員」 表彰一覧

施設名	職種	氏名	勤続年数	年齢
大宮フロイデハイム	介護職	小堀 佳代	10年	50
こすもびあ	看護・介護科長	上田たみい	18年6ヵ月	56
境町メディカルクリニック	介護	篠田こすえ	11年	41
さくら	看護職員	中園美佐子	15年	40
さざんか荘	看護師	石井 かね	11年	58
シニア健康センターしおさい	看護師	佐藤里加子	13年	49
田尻ヶ丘ヘルシーケア	支援相談員	鈴木 真弓	22年	58
東海ナーシングホーム	介護職員	山野あや子	11年	59

「永年勤続職員」 表彰一覧

施設名	職種	氏名	勤続年数	年齢
エバークリーン	介護士	西野由美子	10年8ヶ月	60
エバークリーン	リハビリ補助	金生 吉央	10年11ヶ月	43
エバークリーン	運転手	北村 正男	11年7ヶ月	48
協和ヘルシーセンター	介護主任心得	鶴見 泉	15年	37
協和ヘルシーセンター	主任介護支援専門員	桑野 章	15年	37
こすもびあ	看護職員	山口 貞子	13年	43
ゴーエン美浦	看護主任	坂本 光子	10年5ヶ月	56
境町メディカルクリニック	介護	斉藤 泰孝	11年	31
境町メディカルクリニック	介護	樋下 修	11年	33
境町メディカルクリニック	介護	関 友大	12年	34

施設名	職種	氏名	勤続年数	年齢
さくら	介護職員	佐竹 満里	10年	35
さざんか荘	介護職員	小森 春江	20年11ヶ月	55
さざんか荘	介護職員	塚田 福江	20年11ヶ月	53
さざんか荘	介護職員	福田 芳子	20年11ヶ月	48
シニア健康センターしおさい	看護師	大福根貴代	10年	49
シニア健康センターしおさい	介護士	山田 靖子	10年	41
シニア健康センターしおさい	介護士	鈴木 裕子	10年	32
シニア健康センターしおさい	介護士	梶山 美幸	10年	30
セントラルゆうあい	准看護師	八畝 良子	10年4ヶ月	63
セントラルゆうあい	准看護師	佐藤 幸子	10年2ヶ月	55
セントラルゆうあい	事務課主任介護支援専門員	森川 志子	10年	40
田尻ヶ丘ヘルシーケア	施設ケアマネージャー	落合 俊之	15年	36

施設名	職種	氏名	勤続年数	年齢
博純苑	介護支援専門員	小室 富枝	17年6ヶ月	62
博純苑	介護福祉士	内田 直子	14年	35
平成園	介護福祉士	鈴木 規子	10年11ヶ月	35
マカベシル(パートピア)	看護職	古橋くに子	12年9ヶ月	56
みなと苑	介護	菊池しず子	13年	33
ゆうゆう	介護	小野 陽	10年11ヶ月	33
ゆうゆう	看護	赤塚 則子	10年6ヵ月	50
ゆうゆう	介護支援専門員	市川 光治	10年	38
ゆうゆう	介護	信田美智代	10年	32
リヒトハウス北浦	介護職	石崎 順子	16年	64
リヒトハウス北浦	介護職	青木 幸恵	16年	63
リヒトハウス北浦	介護支援専門員	嶋 晃江	16年	36

「研修施設における実地研修報告」

実地研修とは…

全国老人保健施設協会（以下、全老健）の正会員もしくは準会員施設職員で、全国老人保健施設協会が指定する研修施設において、実技習得を中心とする実地研修を行います。先進的な取り組みをしている研修施設で直接研修を受けることで、技能向上やサービス向上につなげることを目的としています。

A コース（基礎実技習得コース）	B コース（専門実技習得コース）
<p>実習をとおして基本業務を習得する。 受講料：9,450 円（税込、3日間）</p>	<p>専門分野のケアを先行施設の現場で学ぶ。 受講料：1日につき 3,150 円（税込） 分野：リハビリテーション／在宅復帰・在宅支援／認知症／リスク マネジメント／摂食・嚥下／ユニットケア／全職員による施設 運営</p>

【申込方法】 全国老人保健施設協会 HP より申込用紙をダウンロードし、申込用紙を研修希望施設に FAX します。受付後、研修施設と直接打ち合わせをしながら、日時や研修内容を決定します。

茨城県では、B コース・リハビリテーション分野において、2 施設が研修施設に指定されており、全国から研修者を受け入れています。以下に施設説明と実績を報告します。

① 介護老人保健施設 ゆうゆう	実績人数：平成 23 年度 4 名	日程：3 日間
<p>内容： 予め受講者の学びたい事や見学したい事を把握し、その内容を基にカリキュラムを作成。現場見学では、リハビリ場面のみならず居室での環境調整やカンファレンス場面などを見学していただいた。講義では、受講者からの質問に答えながら、作成した資料を基に多職種連携や管理・運営について話をした。受講者とのディスカッションを行いながら、双方向的なやりとりを重視した。</p>	<p>参加者の声： ・自分が現在行っている業務や施設全体のシステムについて、改めて見直す事ができた。 ・学びたい内容がカリキュラムに含まれており充実した研修だった。見学のみならず、講義やディスカッションもあり、ゆうゆうの取り組みのみならず他施設の話も聞けて良かった。 ・生活とリハビリとの関わり等を教えてもらい多職種連携の大切さを学んだ。</p> <p>[連絡先] 〒315-0009 石岡市大砂 10528-14 TEL0299-24-1611</p>	

② 介護老人保健施設 涼風苑	実績人数：[H21] 5 名、[H22] 2 名、[H23] 3 名 (うち北海道1名、山形1名、埼玉1名、千葉1名、東京5名、栃木1名)	日程： 希望により、2～3 日間
<p>内容： 研修者の興味・ニーズに応じた研修プログラム作成 例) 身体拘束しないケアへ向けたリハビリの役割、認知症短期集中リハビリプログラム、片麻痺機能訓練の仕方等</p>	<p>参加者の声： ・利用者の取り組むアクティビティやの工夫や展示に感動しました。治療方法や訓練用具が工夫されているものが多く、施設に帰ったら参考にしたいと思えます。 ・講義では、実際の書類や認知症の評価表など様々な資料を説明していただきながら見せていただき、とても参考になりました。</p> <p>[連絡先] 〒301-0856 龍ヶ崎市貝原塚町 3689 TEL0297-63-0008</p>	

全老健は研修施設に対して、1年に1回審査を行っています。研修施設は、計画書や実施報告書の提出を行いながら、施設側も努力して研修生を受け入れる体制を整えております。

茨城にも、そして全国にも、皆さまの参加を心待ちにしている研修施設があります。是非研修施設で直接、現場の取り組みを研修されてみてはいかがでしょうか !!

詳細は機関紙「老健」にも詳しく掲載されています。参加をお待ちしています。



「安全に・無事に」

介護老人保健施設 ノア
通所リハビリ 主任 武内 裕

通所サービスにおいて、欠かすことのできない送迎。日々、当たり前のようにその業務を行っているが、季節・時期・状況等、気使うことは様々である。

車内の利用者の状況はもちろんのこと、冬季の路面凍結、学童の長期休業。日の短い時期などは、帰宅送迎時間に西日が視界に入ってしまうと運転し難く感じられる。利用者を全て送り届ける頃には、薄暮れ時となり、またしても視界が悪い。送迎業務を行っている方は、何度かそんな思いをされたことがあるのではないだろうか。

その都度「今朝は冷え込んだので、路面に気を付けましょう」「学童が休みに入っているので、運転注意して下さい」等々、日々声を掛けて、安全運転への配慮を

高めるように努めている。

年間を通じて送迎車が全くの無傷でいられる可能性は、2~3割程度だと言われているようだ。つまりは、一年間で送迎業務中にこする、へこむ等の軽微な事故を7~8割の確率で起こしてしまうことになる。何時、それが重大事故となってしまうか。

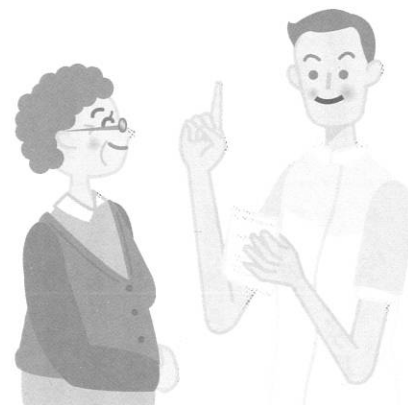
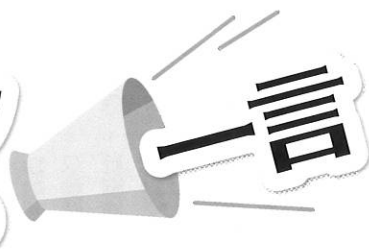
ハイリスクな業務である。運転という周囲の状況に細心の注意を払わねばならない中で、車内の利用者にも目を配らねばならない。常々そこに「慣れ」や「いつも通り」という気持ちを置かないよう、自身に言い聞かせている。

ニュースで、新聞で、稀に送迎車の重大事故の記事を目にすると、決して他人事ではないと痛感する。どんなに気を付けていても、誰にでも「逢魔が時」はあるのだから。

送迎中、他施設の送迎車とすれ違うことがよくある。その時は「お互い、事故の無いよう安全に行きましょうね」そんな気持ちを込めて会釈をしている。

「今日も安全に」「今日も無事に」と。

スタッフ からの



「施設における言語聴覚士の関わり」

介護老人保健施設 つくばリハビリテーションセンター
言語聴覚士 中里 和浩

私たちの施設は、医療法人健佑会いちほら病院に併設するかたちで平成8年つくば市に開設しました。リハビリテーション職員は、理学療法士3名、作業療法士3名、そして言語聴覚士1名の計7名がおり、リハビリテーション提供体制が充実していることが特徴です。

そのなかで言語聴覚士は、利用者様の多くが抱えておられる認知・高次脳機能障害、摂食・嚥下機能障害の二本柱をサポートする重要な役割を担っています。

例えば重い摂食・嚥下機能障害がある場合、胃ろうなどの経管栄養管理により口から食べる機会を奪ってしまうことがあります。そのような方に対して、私たちの施設では言語聴覚士が専門性を生かすことで一度口から食べる機会を失った方にも、安全に食べていただける

食品を選び、適切な食べ方を指導・援助し、ほんの少しでも食べる楽しみが持てるよう支援しています。

また、認知症の方に対して、短期集中的に注意・記憶練習をはじめ、日常生活に密着した場面で利用者様の活力を引き出せるよう専門的に関わっています。

私は上記の関わりを通じて、施設における言語聴覚士の果たす役割の大きさを日々感じています。その中で、言語聴覚士の専門的な知識・技能を生かした機能訓練だけではなく、利用者様の“周りの人と笑顔で会話をする”“安全に食事を楽しむ”といったQOLの手助けをすることを最大の目標とし、話し言葉や飲み込みにお困りの方たちのために少しでもお力になればと考えております。

平成23年度 茨城県介護老人保健施設協会事業実施状況報告

理事会
平成23年度事業報告について
平成23年度事業計画(案)について
平成23年度予算(案)について

学術委員会
平成23年度事業報告
平成23年度事業計画
介護現場でいまさら聞けない利用者の身体アセスメントと急変時の対応

職業別専門委員会
支援相談員専門委員会
介護現場でいまさら聞けない利用者の身体アセスメントと急変時の対応

事務専門委員会
平成23年度事業報告
平成23年度事業計画
介護現場でいまさら聞けない利用者の身体アセスメントと急変時の対応

職業別専門委員会委員長挨拶

平成23年度を振り返りかえって

看護・介護専門委員会

鹿野苑 酒井容子

新年あけましておめでとございませう。介護老人保健施設の職員皆さまにおかれましては益々のご活躍を心よりお祈りいたしてあります。

栄養専門委員会

サンライズ湊 栗橋智代美

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年は東日本大震災を経験し、改めて災害対策の重要性を痛感した年でした。

また、グループワークにおいても「東日本大震災の対応について」話し合い、施設間の情報

交換ができて、今後に役立つ研修会が行えたのではないかと思います。来年度も、皆様のご協力のもと、研修会を開催していきますのでよろしくお願いいたします。

リハビリテーション専門委員会

委員長 国谷伸一(シルバージュニア)

当初、今年度は計6回の現職者に対する研修会の事業計画をしておりました。しかし、東日本大震災の影響により年度始めの研修会を取り止めとし、5回の実施と事業計画の修正をしました。

事務専門委員会

田尻ケ丘ヘルシーケア 赤塚元気

未曾有の大災害から間もなく一年、そして介護報酬改定が迫ってきました。審議会の報告書等からは厳しい改定内容になる見通しです。

この件にも少なからず震災の影響が及んでいると言えるでしょう。影響といえば、当委員会が主催する接遇研修会も開催日の変更を余儀なくされましたが、例年以上の参加をいただき盛況のうちを終了することができました。

支援相談員専門委員会

平成園 山中明男

新年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。平成二十三年年度の研修計画と致しまして、去る六月九日に茨城県市町村会館101会議室にて平成二十二年のアンケートを基に、困難事例に対してのグループワークを行いました。

一回目の研修会につきましては、介護保険法の改正について平成二十四年一月を予定しておりますが、国からの正式な通達がなされてからの開催と致したいと考えております。

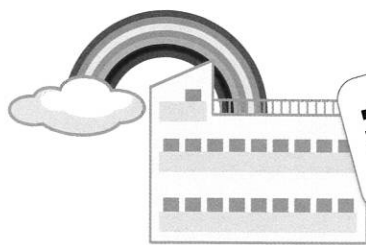
支援相談員専門委員会

平成園 山中明男

新年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。平成二十三年年度の研修計画と致しまして、去る六月九日に茨城県市町村会館101会議室にて平成二十二年のアンケートを基に、困難事例に対してのグループワークを行いました。

一回目の研修会につきましては、介護保険法の改正について平成二十四年一月を予定しておりますが、国からの正式な通達がなされてからの開催と致したいと考えております。

支援相談員専門委員会役員一同一丸となり、企画を進めていく所存です。今後、開催時にはご案内等でお知らせ致しますので多数の参加とご協力の程、宜しくお願い致します。



新 施 設 の 紹 介

新年あけましておめでとうございます。

社会福祉法人筑西会では特別養護老人ホームを運営していましたが、平成23年9月に介護老人保健施設すばるを開設（入所100名・通所25名）、早や4ヶ月になろうとしております。



日々、1つ1つの出来事に対応しつつ学んでおります。「すばる」の名称は職員から公募し、星座の名称ですがひとつにまとまるという意味もありご利用者様、ご家族様、地域住民の方々とスタッフがー丸となり、ひとつに融合できたら、私共の目指す「すばる」になるのではないかと思います、これからも社会に貢献できるよう努力してまいります。

今後とも、皆様方のご支援を宜しくお願い申し上げます。

社会福祉法人 筑西会 介護老人保健施設 すばる

〒307-0001
茨城県結城市大字結城 10780
TEL : 0296-21-2088 FAX : 0296-33-6550
URL : http://www.josai-hp.com/subaru/index_subaru.htm
E-mail : subaru@ia9.itkeeper.ne.jp
理事長 多田 正毅 施設長 折笠 哲男

余寒なお厳しいこの頃、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

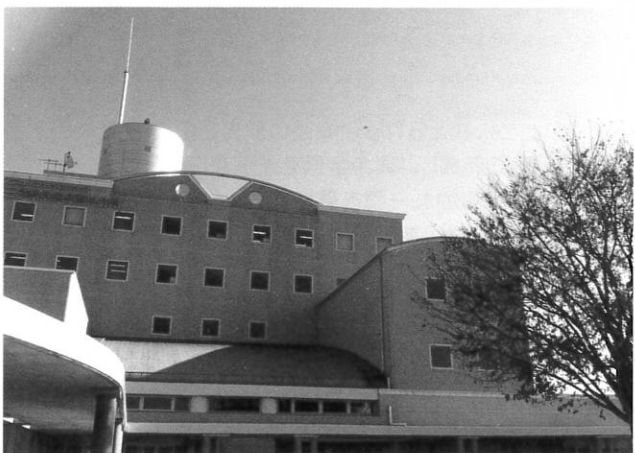
さて、すでに会員の皆様方にはご案内させていただきましたが、昨年の8月1日に水戸市千波町にございます総合福祉会館3階にて、茨城県介護老人保健施設協会水戸事務局が始動致しました。



事務業務、研修に関わる業務など、私、矢内のり子が対応させて頂いております。尚勤務は、週2日（原則 月・金の 9:00～13:00）とし、不在時は、もう一つの事務局である平成園に電話転送され、対応させて頂いております。研修などでたびたび顔を出させていただきますので、よろしくお願い致します。

また、現在、協会のホームページを開設するための準備を進めております。開設後は、研修会のご案内など、リアルタイムで情報を提供させて頂けるとおもいます。準備が整いましたら、またあらためてご案内させていただきます。

皆様方には、今後共、ご指導ご協力の程、お願い申し上げます。



一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会 水戸事務所

〒310-0851
茨城県水戸市千波町 1918
TEL : 029-291-5376 FAX : 029-291-6057
E-mail : i-roken@intio.or.jp



八郷プロバンス (石岡市)



■懐かしい「しおり」

この作品は、利用者の皆様が本離れの進む今日、もう一度読書に動んでいただきたい思いで手作りした作品です。

■陶芸作品

利用者の皆様が、リハビリの一環として制作した作品です。



介護老人保健施設 寿桂苑 (坂東市)



今年震災の影響があり、寿桂苑のデイケア利用者様・入所様が協力しあって『頑張ろう茨城』をテーマに、茨城の名物：筑波山・水戸黄門・霞ヶ浦の帆曳船・偕楽園の梅・納豆をモチーフにした貼り絵を作成しました。約2ヶ月かけて作成した作品です。

仕上がりを見て「良く出来た」と喜んで頂きました。

デイケア利用者様、入所様様の一体感が生まれました。

はあとぴあ (つくば市)



■迎春

当施設では毎月2回、季節の花を取り上げて、フラワーアレンジメント教室を開催しています。1月は“お正月”をテーマに、素敵な作品がたくさん出来上がりました。



■幸運の手まり

利用者様と一緒にそば殻を丸めて芯を作り、ひと針ひと針刺してはほどき、ほどいては刺して、一所懸命作り上げました。日本中が、世界中が幸多かれと祈りながら…。



■流木アート「ペン太くん」

利用者様が流木を使って見事に作り上げたアート作品、ペンギンの「ペン太くん」です。はあとぴあ新館の入口で、毎日皆様のことをお待ちしております!!



今回表紙を飾った「袋田の滝」は日本三名瀑のひとつに数えられる茨城県の観光名所であり、高さ120m、幅73mの大きさを誇ります。新しい観瀑台も完成し、滝の全景を見渡することができるようになりました。凍結した滝は通常の滝とまた違う神秘的な一面を見せてくれます。凍結した滝の写真ではありますが、とめどなく流れる水の勢いを震災復興の力に変えることができればと思い、今回の表紙に選ばせていただきました。

ご協力いただきました関係者皆様に感謝申し上げます。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

水戸事務局

水戸市千波町1918 (月・金 9:00~13:00)
TEL: 029-291-5376 FAX: 029-291-6057

平成園

古河市旭町1-17-39 (左記以外時間帯対応)
TEL: 0280-31-5998 FAX: 0280-31-7767